

13. 東京都北区飛鳥晴山苑地域包括支援センター

北区は、総人口350,864人、高齢者人口86,415人、高齢化率24.6%であり東京都23区内でも高齢化率の高い区となっている。当センターの総人口22,819人、高齢者人口5,592人、高齢化率24.5%（令和4年3月現在）である。当センターエリアでは昨年度と比較し総人口は238人と増加傾向であるが高齢者人口はわずかであるが減っている。北区では令和3年度満65歳以上で要介護認定を受けていない方全員対象に高齢者一人ひとりの日常の生活状況や健康状態、地域との関わりなどを把握し、高齢者の社会参加、介護予防・自立支援につながる施策を構築する基礎資料とするとともに、PDCAサイクルに沿った施策推進を可能とする為対象者75,343人（有効回収率68.7%）に「北区全高齢者実態把握調査」を実施した。その調査から飛鳥晴山苑エリアでは家族の同居率が高く、地域活動（介護予防・ボランティア、町会自治会、趣味活動など）は1つも参加していないとの回答が1つ以上参加している人より多いなどの結果が見えた。地域の掲示板の活用や介護予防支援事業対象者のご家族、更に高齢者の見守り活動を行っている町会、自治会と連携し見守り活動を通し地域活動へ参加声かけや介護予防体操の活動について情報を発信した。コロナ禍であったが「認知症サポーター養成講座」「介護予防ではつらつサロン」「高齢者サロン」等感染拡大防止に配慮し、開催方法を工夫し可能な範囲で実施した。昨年度スタートした「オレンジわんわんパトロール隊」の交流会を屋外で行い、愛犬の散歩をする際に老若男女問わず自然と緩やかな高齢者見守り活動につながると考え実施した。

1. 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防ケアマネジメント事業の取組として当センターの介護予防拠点施設と高齢者の方が住み慣れた地域で元気で自立した生活を過ごせるようコロナ禍での介護予防に関する取り組みなど情報交換、共有し連携を図った。コロナ禍の影響により介護予防支援事業利用者の中には、緊急事態宣下、感染者増加の時期にサービスを休止する方やそのままサービスを終了する方も存在した。

表1. 地域支援事業参加人数

対象者・自主活動	事業名	実施件数
二次予防対象者	おたっしや事業	40件
	介護予防通所事業	6件
一次予防対象者	介護予防ではつらつサロン (2回開催)	10名
介護予防活動対象者	自主グループ活動団体	17団体

表1. おたっしや事業は、例年前期、後期と約半年間の介護予防教室を開催。前期・後期参加者が継続して介護予防が行えるよう当苑内デイサービスセンターあすか（リハビリ）の協力を得て後方支援に取り組んだ。地域の公園や公共施設（体育館など）を利用し自主グループが立ち上がった。

② 介護予防支援事業

介護予防ケアプラン作成件数は前年度3249件だった。

表2. 要支援1・2（ケアプラン作成件数）実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	137	138	136	139	134	130	135	135	134	133	130	129	1610
要支援2	125	119	120	121	124	120	120	122	124	121	121	112	1449
合計	262	257	256	260	258	250	255	257	258	254	251	241	3059

2. 総合相談支援事業

表3-1. 総合相談支援件数（延べ）

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規件数	4	16	17	10	10	20	5	17	14	30	8	9	160
件数	669	606	644	673	696	613	597	613	621	534	619	695	7580

表3-2. 相談内容別件数（延べ）

①介護保険制度・サービスに関すること	4062
②施設入所に関する情報提供等	89
③経済的問題に関すること	152
④医療・保健に関すること	1080
⑤認知症等、精神疾患に関すること	431
⑥成年後見制度に関すること	53
⑦虐待（疑い含む）に関すること	348
⑧保健福祉制度・サービスに関すること	858
⑩ケアマネ支援	426
⑪その他	4233
合計	11732

※各相談項目の件数で、「虐待（疑い含む）に関すること」の項目が、過去2年間を通じて増加傾向であることが伺える。コロナ禍の生活で高齢者の外出自粛による身体機能、認知機能の低下や要介護者と過ごす家族の時間が増加することで関係性の悪化、また介護者の失業等などによる収入減など様々な要因が上記相談内容に影響しているのかと推測できる。高齢者虐待に関し家族への複合的な支援も問われ社会福祉士が主導となり他専門職とチームアプローチを図り更に行政等の他機関へ積極的に協力要請、連携を行い高齢者、養護者への対応に取り組んだ。また、主任ケアマネと地域のケアマネ向け虐待の勉強会を実施した。

表4. 委託事業実績

事業名	回数	実施月
連絡会・会議		
高齢者あんしんセンター長会	2	5・2月（オンライン連絡会含む）
地域包括支援センター連絡会	11	4.5.6.7.8.9.10.11.12.1.3月 （オンライン連絡会含む）
社会福祉士連絡会	1	5・9・1月
主任ケアマネ連絡会	3	6・10（オンライン連絡会含む）
看護職連絡会	3	7・11・3月（オンライン連絡会含む）
生活支援体制整備事業連絡会	4	5・7・11・1・3月
滝野川圏域地域包括支援センター連絡会	4	4・6・9・12・3月（第4木曜日）
事務担当者連絡会	1	8・12月
介護予防事業担当者連絡会	3	5・10・3月
介護予防事業評価検討会	1	12月
認知症事業連絡会	2	10・3月
総合相談支援事業		
家族介護者教室	1	11月
認知症サポーター養成講座	2	11（2回）月
認知症サポーター養成講座（事業者向け）	2	6・7月
認知症サポーター養成講座（圏域）	中止	新型コロナ感染症防止の為
認知症サポーターステップアップ全体交流会	中止	新型コロナ感染症防止の為
認知症サポーターステップアップ（3包括合同）	1	1月
認知症サポーター交流会（3包括合同）	1	1月
ものわすれ相談	2	5・11月
地域の担い手づくり講演会	1	3月（オンライン）
おたがいさまネットワーク協力団体研修会	1	12月
ふれあい交流サロン（ひだまりサロン）	15	4・5・6・7・10・12・1・2・3月 （第1・3水曜日開催。コロナの状況により中止の日もあり。）
ふれあい交流サロン（さくらのしずくカフェ）	10	5・6・7・8・9・10・11・12・1・3月
介護予防で元気はつらつサロン	2	8・3月
オレンジカフェ（認知症カフェ）	12	4・5・6・7・8・9・10・11・12・1・2・3
在宅医療・介護連携推進事業		
サポート医事例検討会	中止	新型コロナ感染症防止の為
北区在宅ケアネット（多職種連携研修会）	3	6・10・2月（オンライン）
権利擁護事業		
障害者・高齢者虐待防止啓発講演会	中止	新型コロナ感染症防止の為
虐待対応スキルアップ研修	1	12月
包括的・継続的ケアマネジメント事業		
令和3年度北区介護支援専門員現任研修	4	6・8・11月（8月2回開催）
北区おたがいさま地域創生会議/運営協議会	2	7・3月
地域ケア個別会議	1	12月
地域包括ケア連絡会（圏域・地域ケア会議推進会議・協議体2層）	1	10月
地域包括ケア連絡会（単独）	2	2・3月
その他		
オレンジわんわんパトロール隊交流会	1	11月
情報セキュリティ研修	1	3月
ひだまりフィットネス（介護予防体操教室）	中止	新型コロナ感染症防止の為
GH運営推進会議・地域密着DS運営推進会議	5	7・11・1・12・3月
認知症啓発活動	1	9月
地域交流活動（運動会、小学校祭り、商店街納涼祭等）	中止	各事業新型コロナ感染症防止の為
飛鳥晴山苑 納涼祭	中止	新型コロナ感染症防止の為
実習生受け入れ（高等看護学院）	7	4・6（2回）・9・10・2・3月